

<https://www.youtube.com/watch?v=z30KzXJAMHI>

では、始めましょう。木曜日に、私は第一テサロニケの教えをとりやめる決定をしました。火曜日に発表されたトランプの和平案に、今日の時間を割くためです。また、今日は非常に特別な日です。(二月の)第1日曜日です... 皆さんが私を見る目つきからすると、私がスーパー・ボウルについて何か言うだろうと思ってますね。わあ。いいんですよ。私は木曜日までこの日曜日がスーパー・ボウルだということを知りませんでした。私はどのチームがプレーするのかさえ知りませんでした。だから、もしかしたら私はもっと外に出なければいけないのかもしれませんが、今日が特別な日である理由は、2005年2月の第1日曜日に、私たちは初めて、日曜日の朝の礼拝を開始しました... 今日が15年目の記念日です。

そうです。神がなさったことをご覧ください。神にしかこれを行うことはできず、神がこのことのすべての栄光を受けられます。ということで、今日は急いでやりたくないで、本当にこれに必要な時間を費やして、このことの重要性を見たいと思います。そうすることが妥当だと思います。それから今日は...

そして、私たちのオンライン教会のために、聖餐式を別の動画としてアップロードします。それは私たちのYouTubeチャンネルで見つかります。たくさんの人たちがいます。実際、世界中で約3000人の人が、私たちと一緒に教会として聖餐に参加しています。何とすばらしいことでしょうか。とにかく、始めましょう。今日の準備には、多くの祈りが注がれましたが、私は、誰にも私の言葉を鵜呑みにして欲しくないということを知っておいてください。私は、どういう意味でそう言ったかを説明します。私は皆さんがご自分で調べ、ご自分で聖書を調べて、今日私が言うことが真実であるかどうか確かめることをお勧めします。使徒17章11節で、ベレヤのユダヤ人たちは、テサロニケのユダヤ人よりも立派な人たちであったと言われています。そして、これが理由です。「非常に熱心にみことばを聞き、はたして そのとおりかどうかと毎日聖書を調べた。」神は私たちに知性を与えて下さっています。私は、私たちが神から与えられたものを使わないとき、大いに過ちを犯すことになると思います。この知性、私たちが持っているこの驚くべき知力。ですから、聖書をご自分で調べて、これが真実かどうか確かめることを切にお願いします。ついでに言えば、そのことについて誰の言葉も鵜呑みにしないでください。お許しただければ、この案に関するいくつかの質問に答えたいと思います。さらに重要なことに、それが今日の私たちにとって何を意味するかについて。これは非常に重大で重要です。火曜日にやっと発表されたこの和平案の預言的重要性を誇張できるものか、私には分かりません。皆さんも私みただったら... 皆さんは色々な面でそうだろうと思いますが、皆さんはとても興奮していました。特に先週の日曜日は。その時点での予備報告はあまりに良い話で嘘みたいでした。皆さんはこの言い回しを聞いたことがあるでしょうが、「あまりにも良い話で嘘みたいなのは、それがおそらく現実に真実ではないためです。」

そして、確かにそれが私の実感となりました。この内容について本当のところを確かめるために、言わば、ボンネットを開けてみた時のことです。水曜日に、私は181ページの和平案をダウンロードし、非常に祈り深く、注意深く読み通しました。その複雑さをすべて整理するために。それは非常に複雑です。

教会内のある兄弟に様々な表や、グラフ、地図、数値やら、何やらも助けてもらったほどです。

私の髪が痛かったくらいです。とにかく、まだ残ってるわずかな髪が(笑)それはとても深刻なものでした。しかし、私はそれを乗り越えました。そして水曜日以降、それを検討する時間がありました。まず、2つの結論を共有し、2つの質問に答えたいと思います。それから、私は方向転換して、なぜこれが本当に重要であるかに注意を集中したいと思います。勘違いしないでください。これは本当に重要なんです。皆さんにとって。私にとって。私たちにとって。今日この日に。繰り返しますが、今日これが私たちにとって意味することの重大性と重要性は、誇張し過ぎることができないと思います。それをするために、私が「ファスト・ファクト」と呼ぶもので、これに前置きをしなければ、ひどく怠慢ということになると思います。最も重要な、5つの基本事実(ファスト・ファクト)。一つ目。パレスチナ人というものはありません。そのため、パレスチナ国家というものもありません。私はパレスチナ人だと言われて育ちました。私がイエス・キリストの救いの知識に至

り、自分で聖書を調べ始め、アラブ人としての私の伝統や文化についてもっとよく学んでから、パレスチナ人が存在しないことを（知りました）。

なぜなら、もうペリシテ人はいないからです。それがパレスチナ人なんです。パレスチナという名前があるのは、紀元2世紀に、ローマがイスラエルを征服し、エルサレムを破壊した時、—実際には紀元70年—彼らは、イスラエルの大敵にちなんでそれを名付けました。ペリシテ（フィリスティア）人です。「フィリスティア」そこから、このパレスチナという名前が来ています。そしてそれは、ほぼ2,000年間、1948年5月14日までパレスチナと呼ばれていました。

「では、先生、この人たちは誰なんですか？」

彼らはアラブ人です。彼らはパレスチナ人ではありません。このパレスチナというものを製作したヤセル・アラファトですが、彼自身がエジプト人でした。エジプト人です。パレスチナ人はいません。そして、パレスチナ国家というようなものはありません。

二つ目。いわゆるパレスチナ人はイスラエルとの共存国家に関心がありません。彼らはイスラエルの完全な破壊のみを求めています。この証拠としては、歴史に目を向ければ十分です。実際、そこまでさかのぼる必要はありません。2000年7月に遡れば十分です。

当時のイスラエル首相のエフード・バラックは、ヤセル・アラファトに神殿の丘の主権だけでなく、エルサレムの旧市街の75%を提示しました。旧市街です。その街の3/4を！ アラファトの反応はどうだったでしょう？

「ありがとう！ やっと、中東に平和を築くことができます！」違います！ それが彼の反応ではありませんでした！彼の反応がどうだったか知っていますか？彼は突然、当時のビル・クリントン大統領との会談から退席し、そして、流血の、死者を伴うアルアクサ・インティファダを開始しました。蜂起です。覚えてますか？ あれらのバスの爆撃を覚えてますか？ その結果、3,000人以上のアラブ人と 1,000人のユダヤ人の死者が出ました。それが彼らの返事でした。私は今日、主に私を穏やかにしてくださるよう頼みました。私はこれについて感情的になりたくありません。だからお付き合いください。

基本事実No.3 いわゆるパレスチナ人は、2000年にエルサレムの75%を拒否しただけではなく、パレスチナ国家を拒否しました。1937年が最初です。繰り返しますが、私の言葉を鵜呑みにしないでください。彼らは独自の国家を拒否し続けました。そして、彼らがパレスチナ国家に全く関心がないという事実から証明されるのは、彼らはイスラエルとの共存国家を望んでおらず、イスラエルの破壊を望んでいることです。

No.4. これはとても重要です。全部重要ですが、特にこれは重要です。そして、その理由はすぐに分かると思っています。エルサレムが聖地であるというイスラム教の主張、具体的には神殿の丘にあるアルアクサのことですが、これは、イスラム教という宗教が偽りであるのと同様に不当なものです。できる限り明確に、次のように言いましょ。アッラーは偽りの神です。イスラム教は偽りの宗教であり、ムハンマドは偽りの預言者です。

No.5. 最後です。エルサレムは、現在も、永遠にも、イスラエルのみの合法的な首都です。所有者としての神の名前がそこにあるのですから。文字通りに、そして合法的に。スライドをお見せします。スクリーンショットです。オンライン教会のために、それを全画面表示します。38ページ目のスクリーンショットです。私はこれをお見せして、私がこの「合法性」という言葉を強調している理由を説明したいと思えます。合法性。セクション21です。題して、「要求および紛争の終わり」以下がその内容です。引用します。

「イスラエルとパレスチナの和平協定は、イスラエルとパレスチナの紛争を終わらせ、そして、当事者間のすべての要求に終止符を打つだろう。」要求の終わり、紛争の終わり。—おや、本当に？繰り返しますが、きっと皆さん方の多くもそうだと思いますが、エルサレムは分割されることなく、イスラエルの首都として存続するという、これらの予備報告が入って来始めたとき... 本当に、それはとても親イスラエルのでした。私は心の中で「ああ、素晴らしい！」と思いました。それから私は例のごとく、現実と向き合うことになりました。基本的に、神が私を阻止し、私を制止し、「何を考えていたんだ？」と言われた と言うべきでしょう。あなたはトランプ大統領がこの和平案を発表したら、それが一国家解決策になると本当に思っていたのか？ イスラエ

ルの永遠の首都であるエルサレムが、分けられることがない？ そして、パレスチナ人が「いいですよ」と言って彼らがパレスチナに戻る、と？ ちなみに、パレスチナはヨルダンにあります。どうしてそんな風に私を見ているんです？ そして、私たちは皆、それからずっと、幸せに暮らす。そして私は、心の中で思いました。

「はあー。私はどうやらそう考えていたようだ。」何だかんだ言っても、トランプ大統領はイスラエルとキリスト教徒のためにこれらいろんなことをやってくれたんです。その時に、神が私を阻止して、こう言われたんです。「その案からその人物を取り除きなさい。そうすれば客観的に見ることが出来るから。」なぜそう言ったかを説明します。というのも、トランプは これら色々なことをしてきました。親イスラエル、親クリスチャン。

そして、彼がこの案を発表します。あなたはトランプが好きです。そして、あなたはトランプが好きだから、その案に好意を持ちたい。そこが、私が「ちょっと待て」と言わなければならなかった所です。この案から彼の名前を外してみましょ。ちなみに、それはそんなに難しいことではありません。なぜなら、この案には全体にわたってジャレッド・クシュナーの名前が書かれているからです。そして、私がおその案からその人物を外した時にやっと、はっきりと見ることができました。トランプ大統領が行ったすべての良いことによって、客観性を歪められることなく、たしかにそれらは良いことなのです。しかし、これは良くありません。実際、これは非常に悪いです。もしくは、私たちが言うように、「すんごく悪い。すんごく、すんごく悪い。」いいでしょう。

これにより、最初の結論に至ります。それは、これがまだ二国家解決策だということです。ここに、その案からの抜粋がいくつかあります。17ページ目から引用しています。「エルサレムはイスラエル国家の独立した首都として存続する。そして、それは分割されない都市として存続するべきだ。」主を賛美します。私はそれに満足です。それで終わりではありません。まだ引用しています。

「パレスチナ国家の独立した首都は、既存の分離壁の東側と北側のすべての地域に位置する東エルサレムのセクションにあるべきだ。米国は、イスラエル国家とパレスチナ国家をそれぞれの首都において認める。また、他の国々が大使館をエルサレムとアル・クッズに移転することを奨励する。」

アル・クッズとは何ですか？ ああ、厳密には、それは「エルサレム」という語の代わりに、エルサレムを指すアラビア語の言葉です。しかしながら、それはそれ以上のものを意味すると信じられています。

エルサレムのユダヤ人をアル・クッズによって根絶することを意味します。それについてはたぶんもう少し後で説明します。ここに2番目の結論があります。そして、こんな風に言っているなら、それは、「交渉決裂要因」です。エルサレムにはまだ解決策がありません。実際、私はエルサレムが、今や、さらに問題化していると主張します。次は、13~17ページの抜粋です。

「エルサレムは複数の宗教にとっての聖地であり、そして、多くの人類にとって宗教的意義がある。エルサレムの聖地の問題、特に、神殿の丘/ハラム・アル・シャリフ...」イスラム教徒、アラブ人、いわゆるパレスチナ人は、決してそれを「神殿の丘」と呼ぶことはありません。理由を知りたいですか？なぜなら、それを神殿の丘と呼ぶなら、そこに神殿があったことを意味するからです。なぜ私をそんな風に見ているのですか？ 彼らはそこに神殿を置かせることはできません。そのため、彼らはそこに一度でも神殿があったという言及や論及を根絶し、排除しなければなりません。そこで、彼らはそれをハラム・アル・シャリフと呼んでいます。

[再び、案の引用です]

「それは最大限の気配りをもって扱われなければならない。エルサレムは文明の歴史において独特な都市だ。3つの主要な宗教にとっての重要性を主張できる場所は、この地上には他にない。毎日、ユダヤ人は嘆きの壁で祈り、イスラム教徒はアル・アクサ・モスクで祈りを捧げ、キリスト教徒は聖墳墓教会で礼拝する。」

どうか赦してください。クリスチャンは場所を礼拝しません。クリスチャンは人を崇拝します。イエス・キリストという人を。カトリック教徒は場所を崇拝します。クリスチャンはしません。

[まだ引用しています。]

「イスラム教にとって、聖なるコーラン（クルアーン）で述べられているように、エルサレムは卓越性を獲得

する。『かれに栄光あれ。そのしもべを、聖なるマスジド（アル・マスジド・アル・ハラム）から、われが周囲を祝福した至遠のマスジド（アル・マスジド・アル・アクサ）に、夜間、旅をさせた。』

ところで、その案がコーランを引用するにあたって、それらが括弧内にあるのは、それらは実際にはコーランの中にはないからです。彼らはそれらが入っていたらいいと願います。「周囲を...」まだコーランを引用しています。ああ、ところで、またお許してください。私は今朝、これをもう一度見直さなければなりませんでした。その多くが信じられない、びっくりすることだったからです。私は自分の目が自分をだましていないことを、ただ確認するために、見直さなければなりませんでした。私は実際に検索しました。ちなみに、それはPDFファイルで、皆さんもダウンロードできるんです。この181ページの案のPDFをダウンロードして、自分で読むことができます。そこで私は見直しました。皆さんが使用しているアプリに応じて検索できます。PDFファイルを検索できます。そこで、私は「聖書」という言葉を検索しました。聖書からの引用や論及があったかどうかを見たかったからです。ありませんでした。

ほー！しかし、コーランからの引用はあるのですか？ はいあります。そして、181ページ全体で「聖書」という言葉だけでも見つけることができる唯一の場所は、ヘブライ語聖書への言及でした。おやまあー。きちんと理解できているかどうか見てみましょう。ヘブライ語聖書 対 聖なるコーラン！ああ、JD牧師、あなたはあまりにも批判的です。まあ、そうかもしれません。しかし、すみません！...（主よ。ごめんなさい。私は落ち着いて話します。）この「聖なる」コーランの引用は、エルサレムに対するイスラム教徒の不当な主張を正当化しようとするもので、エルサレムが聖地であるというイスラム教のこの主張にごくわずかに似かよった唯一の句を引用しています。事実は次のとおりです。「エルサレム」という言葉は、コーランに一度も言及されていません！一度も！そして、イスラム教徒は「ああ、いや、ここにある。ここに。」と言います。いいえ違います！言及されていません。...ごめんなさい、私は叫んでいます。聖書で「エルサレム」という言葉が何回言及されているか知っていますか？ 700回以上、ほぼ800回を数えた人たちがいます。つまり、控えめに言っても、少なくとも700回言及されています。ヘブライ語聖書にです。ヘブライ語聖書に。だからその案は... 繰り返しますが、ご自分でそれを読むことができます。私の言葉を鵜呑みにしないでください。引用します。

「イスラムの伝統によると、その句は...」私がさっき読んだコーランのこの句について言っています。「預言者モハメッドのメッカからエルサレムへの夜間の旅を指します。彼は神殿の丘/ハラーム・アル・シャリフのあたりに到着します。彼はそこで天に上り、早期預言者たちに会い、祈りの命令を受けました。はい、ですから... 知っていますか？ ところで、今の休止は、それは私、そして聖霊が... 私は聖霊と格闘しています。「言うべきですか？ いいえ、言いたくありません。」「いや、言いなさい。」「わかりました。」ですから、今それを言います。では行きます。あのう... ご存知ですか？イスラム教の信条によれば、彼らのメシア・マハディが帰って来るのですが、イエスが彼と共に来るんです。そして、イエスが彼のための祈りを主導するのです。私は彼らが、どのイエスのことを言っているのかわかりません。それは私のイエスではありません。それは私のイエスではありません。私がそう言のは...やはり、私は聖霊の導きによって今そう言われたのだと信じています。あなたにそのばかばかしさを気づかせるためです。ばかばかしさ。「ばかばかしい」という言葉でさえ不十分です。では、また方向転換して、2つの質問に答えましょう。

最初のものは、これがダニエルの預言にある 和平案かどうかというものです。具体的にはダニエル書9:27です。その預言を読みます。「彼は[反キリストのことです。] ... (契約を) 結び*、」（*訳注：英語では confirm 「追認する」の意）その言葉をちょっと覚えておいてください。「彼は一週の間、多くの者と堅い契約を結び、半週の間、いけにえとささげ物とをやめさせる。荒らす忌むべき者が翼に現われる。ついに、定められた絶滅が、荒らす者の上にふりかかる。」つまり、言い換えれば、これは反キリストが7年間の和平協定を追認するという預言で、それは早い段階において、あるいは和平協定の一部としてさえ、ユダヤ人に神殿を再建することが許されることを示しているようです。なぜなら、その中間点の3年半という時点で、この反キリス

トが神殿に立って、崇拜されることを要求する時に、神殿があるからです。私たちは第二テサロニケで、またこれを見ていくことになります。しかし、彼は神として崇拜されることを要求し、彼は忌みきらうべきことをします。多くの人、その神殿で汚れた動物をいけにえとして捧げることだと信じています。そしてそれが荒廃を引き起こすことになります。それが荒らす忌むべき者です。そして、この時に、ユダヤ人たちは「これは私たちの救世主（メシア）ではない」と気付きます。そして彼らは逃げます。私の信じるところでは、現ヨルダンにあるペトラに。後半の3年半の間、神はそこで7年の患難の終わりまで彼らを守られます。そして、彼らは神を呼び求めます。それが、イエスが戻って来られる時です。7年間の患難の終わりに、私たち主の花嫁を伴って。繰り返しますが、この預言は非常に具体的で、非常に詳細にわたるものです。そして、問われるべきことがあります。トランプ大統領が火曜日に発表したこの和平案は、ダニエルが9章27節で預言した、この和平案のことですか？ 回答は？「然り」かつ「否」。および/あるいは「まだ」。皆さんはその答えが好きですか？ 私にできる最善の答えです。さあどうぞ。では、私がなぜそんな風に言ったのか説明させてください。まだ何も合意に至っていませんし、何も追認されていません。さらに、ダニエルの預言には、予定の期間に関する特異性が含まれており、これは合計7年間になると多くの人が同意しています。

さて、私は個人的に、この案はすでに用意されているもので、それに反キリストが、それがだれであれ、後に追認するものだと信じています。私がそう思う理由は次の通りです。ヘブライ語聖書、つまり旧約聖書の原文で「追認する(confirm)」という語は、実は私の母語のアラビア語でも同じ言葉です。それは「ヒビール」という言葉であり、より素晴らしくするという概念を伴っています。より優れたものを達成する、目覚ましくする。言い換えれば、反キリストはすでに審議中の計画を、もっと「ヒビール」目覚ましく、より素晴らしく、優れたものにするとということです。そして、そこに暗示されているのは、彼がそうするためには、すでにその案が用意されていなければならないということです。もし私があなたと会う約束をしていたら、私のアシスタントがそれを確認するためのメールを送るようなものです。つまり、それはすでに設定されており、すでに準備が整っています。私たちはただ確認するだけでいいんです。そのように、それはこの案にも当てはまります。ですから、「然り」且つ「否」です。「否」、それはダニエル9:27の案、そのものではありません。ああ、なんてことでしょうか。もしそうであれば、...でも、まず第一に、私たちはここにいないはずなんです。なぜなら、反キリストが現われる前に教会は取り除かれなければならないからです。そして、反キリストこそがこの契約を追認する人なのです。いいですか。私がこう言うのは、愛をこめて、そしてもちろん、おどけてです。あなたがここにいて、ある朝起きて、ニュースフィードを見て、7年間の和平協定が追認されたことと耳にしたら、あ、あなたは携拳を逃したんです。他にどんな風に言ったらいいかわかりません。ここにいない方がいいですよ。おやまあ。これだけの年月を経ても...いいでしょう。とにかく...主よ、その軽さを感謝します。それを少し軽くするために少しユーモアを入れました。

2番目の質問です。これはデッカイものです。これはゼカリヤの預言の成就ですか？

ゼカリヤの預言を読みます。12章1〜3です。

ゼカリヤ書12章1〜3節

宣告。イスラエルについての主のことば。――天を張り、地の基を定め、人の霊を その中に造られた方、主の御告げ。――見よ。わたしはエルサレムを、その回りのすべての国々の民をよめかす杯とする。ユダについてもそうなる。エルサレムの包囲されるときに。その日、わたしはエルサレムを、すべての国々の民にとって重い石とする。すべてそれがかつぐ者は、ひどく傷を受ける。

これが、エルサレムの分割に関して特異的に書かれたあの預言です。それでは、質問に戻りましょう。

この案はエルサレムを分割する案ですか？ 回答は？「然り」かつ「否」。および/あるいは、「まだ」。また理由を説明します。またしても、現段階ではまだ何も追認も同意もされていません。しかし、私に言わせれば、トランプの和平案はエルサレムを分割するもののようです。「先生、ちょっと待ってください。「私はエル

サレムがイスラエルの首都として分割されないで存続すると聞いていますよ。」いいですよ。「彼が彼らに与えようとしているエルサレムの部分は、実際にはエルサレムとは見なされないのです。彼はただそう言っているだけで...。」

では、神の御言葉に戻りましょう。その預言は、その重い石、境界石を動かし、その境界を動かそうとする人は誰でも、わたしは彼らを動かす、というものです。エルサレムを分割したいのか？ わたしはあなたを分割しよう。ある翻訳はもうちょっと生々しいです。あなたがエルサレムを切り分けようとするなら、わたしはあなたを切り分ける、とあります。どうでしょう？ それがJDV（JD翻訳）です。要するに、それが神が言っておられることです。

「わたしはエルサレムを全世界が夢中になり執着するものにする。」あら、全世界は何に執着することになるんですか？「エルサレムを分割することだ。」「よりもよって、わたしがわたしの名前を置くことにした、まさにその都市を！」「所有権を示すわたしの名！それはわたしの街なのだ。」「あなたがたはその境界石、その重い石、その動かさない石を動かすことはできない。」

それは、よろめかす杯。陶酔。執着。

それでは、検討中の質問に戻りましょう。これはエルサレムを分割しますか？それはじきに分かります。時が経てば分かります。「どういう意味ですか？」ああ、この預言によれば、エルサレムを分割しようとする者は誰でも、自らが分割されるということで同意しますか？同意できますか？同意したら、私ができるだけ愛をもって、はっきりと 言いますから、私の言うことを聞いてください。米国大統領に対してしかるべき敬意を示しますが、これが実際にトランプの意図である場合、 私たちは米国の分裂を目撃する可能性があります。ふうむ。私は、第一列王記3章の あのすごくおもしろい話を思い出します。それは、私にとって聖書の中で 最も興味深い記録の一つです。

それはソロモンに、神が現れて、「ソロモンよ。あなたが望むものを何でも与えよう。願いなさい」と言われたすぐ後に続きます。ところで、それは今日ここにいる私たちのためです。あなたがたがわたしの名によって求めることは何でも、それは実現する。それがわたしのところと一致するもので、わたしの栄光のためであれば、あなたがそれを求めるならば、与えられる。それで主はソロモンに現れます。彼は今、正当に、イスラエルの王位についたところです。彼は何をすべきか分かりません。こんな感じです。これはとても大まかな言い換えですが、彼は、「神よ。私はどうしたらいいのか、さっぱり分かりません。私はどうやって正しく適切に王座に上がっていくのかさえ分かりません。私は一体全体、どうやってあなたの民を導くことができるようになるのか、見当もつきません。」そこで、彼は言います。「私に知恵をください。」神は、こんな感じです。正答！！正しい答えだ。「あなたが富を求めず...」とても面白いですよ。「あなたの敵のいのちをも求めず...」私だったら、それを願います。さあ、皆さんも同じでしょう。笑わないでください。「何でも欲しいものを願っていいんですか？」そうだ。「ははあ。分かりました。」「まず、私は超大金持ちになりたいです。まず、それを片付けましょう。それから、私が願うのは、『復讐はわたしのもの』と主は言われる。私はあなたに正義の鉄ついでを下してほしいです。」彼はそれさえ求めません。

「あなたがそれらのものを何も求めなかったから、わたしはそれをあなたに与えよう。」「それに、わたしはまたあなたに比類のない知恵も与えよう。」「これまで誰も持ったことのないような知恵、」「またこの先、誰も持たないような知恵を。」ソロモンの知恵が最初にどう表されたか、知ってますか？ものすごく面白いんです。彼のもとに、この裁くのが非常に困難な、敢えて言うなら、ややこしい問題が持ち込まれました。二人の女性が彼のところに来ます。その二人ともが、この生きている男の赤ちゃんを 自分の息子だと主張します。こういう成り行きでした。ある夜のことで、二人はそれぞれ自分の息子と一緒に眠りました。息子の一人が、夜中に亡くなりました。それで、亡くなった息子のお母さんは、自分の死んだ息子を抱えてもう一人の女性のところに行って、赤ちゃんをすり替えます。ちなみに、これは実話です。これは実話に基づいた話ではありません。実話です。それは実際に起こったんです。それで彼女は自分の子ではない生きた息子を取り、自分の死ん

だ息子を置きます。そして、お母さんが朝目を覚ますと、彼は死んでいます！ いやだあ！！！！ しかし、よく見ると、彼女は気づきます。「ちょっと待って。これは私の息子じゃないわ。」そこで彼女たちは二人とも主張しています。「いいえ、彼は私の子です。」「いいえ、彼は私の子です。」では、ソロモンはどうするのでしょうか？ 二人ともその息子は自分の子だと主張しています。ソロモンは言います。「分かった。私はどうすればいいか知っている。」「主よ、あなただけが与えることができる天からの知恵に感謝します。」彼は「私の剣を持って来なさい」と言います。どうするつもりでしょう？「私の剣を持って来なさい。ええと、こうするのだ。彼女たちは二人ともこれが自分の息子だと主張しているから、それを2つに分けよう。」これは2国家解決策です。2乳児解決策。皆さん、お分かりですか？ いわゆるパレスチナ人は「いいえ、それは私たちのものだ」と主張しています。イスラエル、ユダヤ人は、「いいえ、それは私たちのものです。」分かった。まあ、みんなを満足させておこう。みんなでハグをしましょう。それを分けよう。聞いてください。3章26節です。「すると、生きている子の母親は、」本当のお母さん、その息子の本当の母です。「自分の子を哀れに思って胸が熱くなり、王に申し立てて言った。『わが君。どうか、その生きている子をあの女にあげてください。決してその子を殺さないでください。』しかし、もうひとりの女は、『それを私のものにも、あなたのものにもしないで、断ち切ってください。』と言った。」...私だけでしょうか。それとも、これはまさに今日起こっていることでしょうか？「そうだ、さあさあ、分けなさい。」ああ、ソロモンがどうするか知ってますか？ ああ、もう、つまり... 皆さん、ハリウッドをご存知ですね？ハリウッドは忘れてください。私は何の話をしてるんでしょう。もしも私が超大金持ちになったら、まず私が最初にすることは、... とにかく、それはまったく別のことです。私たちは建物を払って、色んなことをして、素晴らしいでしょう。それから、私はこれを題材にした映画を製作します。なぜなら、ソロモンは、「ダメ、ダメ、ダメ、ダメ...」と言うお母さんを見たとき。「その子を切断しないで。お願いします。」そして、自分が母親だと主張したもう一人は、言いました。「はい。どうぞ。切断して。」ソロモンは言いました。「あれは母ではない。」「彼女の主張は不当だ。」「赤ちゃんを分割せずに与えなさい。」ところで、手に汗を握って待っている皆さん、ネタバレ注意です。彼は赤ちゃんを切断しません。いいですね。お知らせしておきます。皆さんの中には、心配顔の人たちがいます。「どうなったの？まさか、彼は...？」いいえ、しませんでした。彼は、正当に主張する権利のあった本物のお母さんに、赤ちゃんを分割しないで与えました。これで私が何を言おうとしているのか、わかりますよね？

私がアラブ人、いわゆるパレスチナ人として、理解し始めなければならなかったことの一つは、ユダヤ人は神の選ばれた民であり、神はユダヤ人と契約を結んでいるということ、そして、神はユダヤ人との関係を断ってはいないということでした。それと同様に、神は、私と皆さんとも契約を結んでおられます。私はここで賢ぶってはいません。

しかし、このように考えてください。もし神がユダヤ人との関係を断たれていたら、あなたはどれくらい安心していられるでしょうか？ 神はあなたと私とも、契約を結んでいるからです。したがって、それが永遠の契約でないなら、... とこでもまた、ネタバレ警告です。ごめんなさい。ええと、永遠の契約は永遠に続きます... 永遠に、続く...契約。神にはユダヤ人との契約があり、それが永遠に続くなら、私たちが持っている契約も同様に、永遠に続きます。要するに、あなたと私は、神にユダヤ人との関係を断ってほしくはないのです。おもしろいのは... 私と娘は一緒に創世記を読んでいます。私は決してそれに飽きることがありません。この人たちは、私の仲間の人たちだからです。そして神は、私の仲間の人たちを祝福することを非常に明確にしています。そして、まあ、何ということか。神は、アラブの人たちを祝福されました。神はアラブの人々を愛しています。神はいわゆるパレスチナ人を愛しています。しかし、肝心なことは、その地はユダヤ人のものだということです。それは神のご計画の一部です。神がイスラエルと結ばれている土地の契約の一部です。ちなみに、ついとして、補助的に言っておきましょう。ここが私たちが理性を使用する必要がある場所です。私たちが論理的に考えられるように、この知性を与えてくださっています。これは妥当なんです。最近、地図を見たことがあります

か？最近、地図を見ましたか？ と言うのは、私は地図を見ていたんです。 その案にはパレスチナ国家とイスラエル国家に分割する地図が含まれているためです。エルサレム、東エルサレム。 どんな呼び方をしたとしても。ええと、はい。どう説明したらいいでしょう？ 他に良い説明の方法がないので。私の指を使いましょう。いいですか？では、こうしましょう。ええと、イスラエルは私の爪の先から指の関節までです。

それがイスラエルの大きさです。あなたは、それに比べて、アラブ人が持っているアラブの土地は...

さて、イスラエルはこれです。あの、ステージ全体です。そうです。地図を見てください。これは土地が問題なのではありません。エルサレムが問題なのではありません。イスラエルの破壊です。それが問題なんです。ところで、ええと、「最後に1つ」とは言いたくありません。通常「最後のもの」にならないからです。でも、最後の一つです。創世記の初めから、これはサタンがやるうとしてきたことであり、彼はそれを続け、今でもやるうとしています。それは、カインによるアベル殺人で始まりました。ユダヤ人になると分かっていたものを排除しようとして。私がそう思う理由は次の通りです。創世記3:15にある原福音と呼ばれるものは、蛇、サタンが救い主イエスのかかとかみつ、救い主イエスは蛇、サタンの頭を踏み砕くというものです。しかし、ここが問題です。それは女の種（子孫）になります。女性には種がありません。あるのは卵です。種は男にあります。それは世界の救い主の処女誕生に関する預言です。それはユダヤ人の種（子孫）から来るのです。だからサタンは、「まあ、それを実現させるわけにはいかない。」「彼に私の頭を踏み砕かせてはならない。」それで彼は歴史を通して、ユダヤ人を排除し、根絶しようとしてきました。このメシアの到来を妨げるためです。そして彼は失敗しました。彼はパロを使って、ユダヤ人の男児たちをみんなナイル川に投げ入れて死に至らしめようとしていました。モーセ以外は。キリストのイメージです。サタンは彼を排除できませんでした。ハリウッドが好機を逃していると言えば、最も劇的な叙述の1つは、エステル記にあります。私たちはエステル記の学びをしました。聖書の中でも最も魅力的な書の1つです。私が聖書のすべての書についてそう言っていることは知っていますが、非常に興味深いです。ハマンは、私が信じるところでは、サタン自身に取りつかれてすべてのユダヤ人を根絶するための布告を王に出させます。彼はイエス・キリストの初臨を妨害しようとしています。そして彼は失敗します。そして...新約聖書に早送りします。ヘロデ。虐殺者。本当に、悪魔のように、2歳未満のユダヤ人の男児すべてを虐殺し、失敗するのです。前世紀に行きます。私の娘は第二次世界大戦のホロコーストについて勉強しています。なんてことでしょう。ところで、学校ではもうそれを教えてないんですよ。私たちはホームスクールしています。だから彼女はそれについて学んでいるんです。そして、このヒトラーは、サタン自身に取りつかれていたのだと私は信じてますが、生きているすべてのユダヤ人を根絶しようとして、彼は失敗します。そして、7年間の患難の間に、反キリストが再び試みます。そして、彼は失敗します。なぜなら、もし彼がどうにか成功すれば、一絶対に成功しませんが一彼はキリストの初臨を阻止するだけでなく、それに続くキリストの再臨を阻止することができるからです。それが理由です。それが背後にある理由です。いいでしょう。では、質問です。そして締めに入ります。なぜこれが重要なのですか？

「先生、正直に言って、今日私がこの教会に来たのは、あるいは私がオンラインで観ているのは、私は今日本当に惨めで、本当に苦労して、難しい試練を経験しているからです。大統領の和平案のことなんか、少しも考えてません。一体全体なんなんですか？ 私には励ましが必要なんです。」

ああ、ああ、それは良かった。これはとても励みになるからです。「先生、頭がおかしくなったんですか？」まあ、そう言うこともあるかもしれませんが、しかし、いや、そうではありません。これがどうして励みになるのか？なぜなら、終わりが来るためには、これらのことが実現しなければならないからです。これが何を意味するか知っていますか？あなたにとって、また私にとって、これが何を意味するか知っていますか？私たちはそれくらい近づいているんです。おやまあー。私はこれを見て考えています... 主よ、主よ、ありがとうございます。どうもありがとうございます。あなたは終わりの時に何が起こるかを正確に教えてくださいました。それは起こっています。そして、それが意味するのはただ一つです。あなたが来られようとしています。あなたは私たちをこの世界から連れ去るために来ようとしています。待ちきれません。この世界は私の家ではありません

せん。つまり、今の時のいろいろの苦しみは、将来私たちに啓示されようとしている栄光に比べれば、取るに足りないものです。そして、私たちはもうそれほど長く待つ必要はありません。ごめんなさい...私は叫んでいます。しかし、それはアラブ人の習性です。私たちは叫ぶんです。

「ちょっと待って。あなたはワクワクしているかもしれませんが。私はそうではありません。これは少し怖いんです。ワクワクする代わりに、私はちょっと怖くなっています。これは大きな恐れと不安をもたらします。」
これがあなたにとって、またはオンラインで見ているあなたにとって、何を意味するか知っていますか？ それは、あなたが主と正しい関係にないことをよく示しています。あなたが主と正しい関係にあったら、あなたは主が来られるための準備ができているほど、ワクワクするからです。だから、これはあなたにとって非常に重要なんです。なぜなら、あなたは主と正しい関係になる必要があるからです。今日は救いの日です。私は他に何が起こらなければならないのか分かりません。神は、手遅れになる前に、すべての人に、最後まですべてのチャンスを与えたがっておられると、私は心から信じています。神のみこころは、一人も滅びることなく、すべての人が悔い改めて、キリストのもとに来ることです。私の目には、これらのことは、神がただ...つまり、警告灯、しるし、時が近づいている。もう時間はあまりない。遅い時刻だ。遅らせるな。遅らせるな。遅らせるな。

そしてもしかしたら、それは今日ここにいるあなたか、オンラインで見ているあなたかもしれません。私はとても簡潔に言いたいと思います。今日私たちが世界で見ているものはすべて、一つの言葉を綴っています。「携挙」です。つまりイエス・キリストの教会の携挙です。それはいつでも起こり得ます。携挙時に世界がどのように見えるかについての聖書預言にある記述は、まさに今日の世界の状況そのものです。ということは、携挙が今日起こり得ることを意味します。私たちはそれほど近づいているんです。そして時間はまだあります。手遅れではありません。手遅れになる時が来ようとしています、今は手遅れになる前の時です。私たちが、これらの預言アップデートをするのは、警告を発するためだけではありません。「主は来られる!」「時が近づいている。遅い時刻だ。」私たちはまた、福音、つまりイエス・キリストにある救いの良き知らせで締めくくります。そして、子供にも分かる単純な「救いのA B C」による救いの説明をもって。福音とは何ですか？福音とは、イエスが十字架につけられ、葬られ、3日目に再びよみがえり、いつか再び戻って来られることです。それが良き知らせです。それが福音です。

救いのABCとは何ですか。

Aは、あなたが罪を犯し、救い主を必要とすることを認める(admit)か、認識する(acknowledge)。

ローマ3:10 「義人はいない。ひとりもない。」

言い換えれば、あなたは良い人かもしれないが、決して十分に良い人にはなれない。

そして、**ローマ3:23**にその理由があります。

「すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができません」

私たちはみんな有罪です。私たちは皆罪を犯しました。そして今、私たちは、判決を下されなければなりません。不十分であり、的を外し、神の完全な律法、つまり完璧な正義の基準を破った罪のために。

その罰が何であるか知っていますか？それは死刑です。

ローマ6:23 「罪から来る報酬は死です。」

みな、罪を犯しました。私たちはみな生まれつきの罪人でした。だからこそ、私たちは新たに生まれなければなりません。

「罪から来る報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。」

それは与えられる贈り物で、主が十字架で全額を支払われました。それがAです。

次はBです。Bはイエス・キリストが主であるとあなたの心で信じる(believe)。

ローマ10: 9-10 「もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で 神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと 信じるなら、あなたは救われるからです。」

そして最後に、Cは 主の御名を呼び求める(call)。

または、**ローマ10: 9-10**にまたあるように、口で告白する(confess)。

「もしあなたの口でイエスを主と告白し、 あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。」

そして、これが理由です。

「人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」

そして最後に、**ローマ10:13**が決着をつけます。

「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる。」

それほど単純です。それは祈り一つで手にできます。 あなたの口で告白し、あなたの心で信じ、 あなたの罪を認め、 罪の赦しを求めて主に信頼します。お立ち下さい。 礼拝チームが壇上に来ます。 聖餐式に残ることができるならば、 ぜひそうされることをお勧めします。せいぜい10分から15分程度です。残れない方、 神が祝福してくださいますように。ああ、ところで、残れない方、 火曜日の夜は祈り会です。

必ずお伝えしたかったので。火曜日の夜に予定のある方は、それらをキャンセルしてお越しください。ここで7時からです。祈って終わりにしたいと思います。その際、 私は聖霊に十分な余地を譲り、 私たちの心を探っていただきたいと思います。主を知って、主と共に歩んできた私たちは、もしかしたら、私たちは主に心を探っていただく必要があるのかもしれませんが。私たちを主から遠ざけ、 私たちを主から離しているものが何かないかどうか。私は、人類史のこの最後の1時間で、これまでになく、私たちは主に近づく必要があると思います。もてあそぶのをやめて。それには時が遅すぎます。神のことについて真剣になってください。もしかしたら、これは今日ここにいる方か、オンラインの誰かのための言葉かもしれません。主は来られるのです。私はそれが、私たちの誰もが 想像するよりも早いだろうと信じています。祈りましょう。

お父様。ありがとうございます。どうもありがとうございます。福音の単純さを感謝します。聖書の預言を感謝します。それが起こる前に何が起こるかを教えてくださいありがとうございます。

それが起こり始めるのを見たら、信者たちは、贖いが近づいていることを知って、からだをまっすぐにし、頭を上を上げるため、そして、信じていない人は、現実の時の遅さに目覚めて、それについて何かをするためです。

主よ、私が牧会の特権にあずかっているこの素晴らしい教会にいる方、またはオンラインで観ている方で、一度もあなたを呼び求めたことがなく、口で告白し、心で信じ、罪を認め、罪の赦しのために イエス様、あなたに信頼したことの無い方がいれば、今日が彼らの救いの日となることを祈ります。

イエスの御名においてお祈りします。アーメン。

メッセージby JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe47-525Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記hukuinn7